



全員が守るべきスポーツマンシップと行動規範

スポーツマンシップとは、見識および実践において、寛容さと他人を真に思いやる心によって特徴づけられる品格であると定義される。スペシャルオリンピックス・ユニファイドスポーツ競技会においては、常にスポーツマンシップの理想が体现されていなければならない。すべての関係者は、アクティビティにおけるそれぞれの役割が何であれ、自分の行いが他人の行動に与える影響を意識し、優れたスポーツマンシップを具現化することが期待されている。

コーチに期待すること

- 常に参加者やファンが見習うような良い手本となる。
- 適切なスポーツマンシップを発揮すべき責任があることを参加者に教え、スポーツマンシップと倫理を最優先するよう要求する。
- 審判の判定を尊重し、種目のルールに従い、ファンを煽るような態度は慎む。
- 相手方のコーチ、ディレクター、参加者、そしてファンに敬意をもって接する。
- 誰もが見える所で審判や相手のコーチと握手をする。
- スポーツマンシップの規範に従わない参加者には罰を与える。

アスリートとパートナーに期待すること

- チームメイトに敬意をもって接する。
- チームメイトがミスをしたら励ます。
- 相手方に敬意をもって接する。試合の前と後に握手をする。
- 審判の判定を尊重し、試合のルールに従い、ファンを煽るような態度は慎む。
- フェアな競争を行うために、審判、コーチあるいは技術代表、そして一緒に参加している仲間と協力する。
- 相手のチームが好ましくない行いを見せても報復しないこと（言葉でも身体でも）。
- スペシャルオリンピックスの代表であることの責任と名誉を重く受けとめる。
- 自分のベストを尽くすことがすなわち勝つことであると決める。
- コーチが打ち出した高いスポーツマンシップの基準に従い行動する。

「僕はユニファイドスポーツ・チームでプレーしている。君もプレーがしたければチームに来なくては。」 — マット・ブーン、ユニファイドスポーツ・アスリート